

# DVDプレーヤー GRAMO-20 取扱説明書



プレーヤーをお使いになる前に取扱説明書をよくお読みください。

本製品はマクロビジョンコーポレーションその他が所有する合衆国著作権および知的所有権への技術特許申請により保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの認可が必要であり、認可された者のみがこれを使用するものとします。リバース・エンジニアリングおよびディアセンブリーは禁じられています。

# 目次

<b>はじめに</b>	<b>1</b>
使用上のお願い	6
ディスクの取り扱いと用語	7-8

<b>ご使用にあたって</b>	<b>9</b>
1. リモコンの準備と使用	9

<b>操作インターフェース</b>	<b>10</b>
1. フロントパネル	10
2. フロントパネル	10
3. バックパネル	10
4. リモコン	11

<b>システムの接続</b>	<b>12</b>
1. テレビとの接続 (AV入力)	12
2. テレビのS-VIDEO端子への接続	12
3. コンポーネント (Y, Cb/Pb, Cr/Pr) 入力端子付きテレビの接続	13
4. 2chアンプとの接続	13
5. デジタルアンプとの接続	14
6. プログレッシブテレビとの接続	15

<b>システム設定</b>	<b>16</b>
1. 一般設定	
1-1. テレビ表示	16
1-2. アングルマーク	16
1-3. 画面表示言語	17
1-4. スクリーンセーバー	17
1-5. レジューム	18

<b>2 オーディオ設定</b>	
2-1. ダウンミックス	18
2-2. DRC	18
2-3. デジタル音声出力設定	19

<b>3 映像設定</b>	
3-1. 映像出力	19
3-2. 映像出力つづき	20
3-3. 画質設定	20

<b>4 環境設定</b>	
4-1. 音声言語	21
4-2. 字幕言語	21
4-3. ディスクメニュー	21
4-4. 初期設定	21

## **基本操作 22**

1. 電源を入れる	22
2. ディスクの挿入	22
3. ディスクの再生	23-24
4. トラックの頭出し	24-25
5. リピート	25
6. その他リモコンの使用方法	25

## **トラブルシューティング 26-27**

## **仕様 28**

## **保証書**


# はじめに

---

## 本取扱説明書の内容について

この取扱説明書は、本機の基本的な操作のしかたを説明しています。

## リージョン番号について

このDVDプレイヤーのリージョン番号は2です。DVDビデオディスクの再生限定地域を表すリージョン番号が表示されている場合には、そのリージョン番号マークの中に『』のように2が含まれているか、またはALLが表示されていないと、本機では再生できません。

(このとき画面に表示がでます)

## DVDプレーヤー

1. 10ビットデジタルビデオコンバーターを採用、水平解像度は500本以上です。
2. 24bit/96KHzデジタルオーディオコンバーターを採用、高品質の音響効果と高性能のハイファイレベルを実現しています。
3. コンポーネント映像信号出力、Sビデオ出力、コンポジット・ビデオ出力、光デジタル音声出力から選択可能です。
4. プログレッシブスキャン機能を搭載しています。

## 96-KHz/24-bitデジタル/アナログ (D/A) コンバーター

最新の変換技術によりCDの2倍にあたるサンプリング周波数96KHz、ビット数24のソフトウェアに対応、歪みのない高品質な音響を実現しています。

## デジタル音声出力

光デジタル音声出力により外部のAVアンプに接続できます。

## コンポーネント映像出力



コンポーネント映像出力 (Y、Cb、Cr) によってDVDのリアルな効果を得ることができます。ノイズのない、本来の美しいカラー信号を実現します。

# はじめに

## 安全上のご注意

- ご使用の前に、この『安全上のご注意』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

### ■表示の説明







表 示	表 示 の 意 味
 <b>警告</b>	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(*1)を負うことが想定されること”を示します。
 <b>注意</b>	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害(*2)を負うことが想定されるか、または物的損害(*3)の発生が想定されること”を示します。

\* 1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

\* 2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。

\* 3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

### ■図記号の例

図 記 号	図 記 号 の 意 味
	“  ”は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
	“  ”は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
	“  ”は、注意を示します 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

### 異常や故障のとき



煙が出たり、変なにおいがしたりするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと  
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店にご連絡ください。



内部に水や異物が入ったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと  
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。











落したり、キャビネットを破損したりしたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと  
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。













電源コードが傷んだり、電源プラグが発熱したりしたときは、すぐに電源を切り、プラグが冷えたのを確認してコンセントから抜くこと  
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。



# はじめに

設置されるとき	 <b>警告</b>
屋外や風呂、シャワー室など、水のかかる恐れのある場所には置かないこと 火災・感電の原因となります。	 水ぬれ禁止
電源プラグは交流100Vのコンセントに接続すること 交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。	 指示
ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所や振動のある場所に置かないこと 本機が落ちて、けがの原因となります。	 禁止
上に物を置かないこと 金属類や、花瓶・コップ・化粧品などの液体が入った場合、火災・感電の原因となります。 重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。	 上載せ禁止
ご使用になるとき	
修理・改造・分解をしないこと 火災・感電の原因となります。 点検・調整・修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。	 分解禁止
ディストレイなどから異物を入れないこと 金属類や紙などの燃えやすい物が内部に入った場合、火災・感電の原因となります。 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。	 異物挿入禁止
雷が鳴りだしたら、本機に触れないこと 感電の原因となります。	 接触禁止
電源コードは ・傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしないこと ・引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしないこと ・無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしないこと 火災・感電の原因となります。	 禁止
お手入れについて	
電源プラグの刃や刃の取り付け面にゴミやほこりが付着している場合は、電源プラグを抜き ゴミやほこりをとること 電源プラグの絶縁低下により、感電の原因となります。	 指示

## はじめに

設置されるとき	 <b>注意</b>	
<p>温度の高い場所に置かないこと 直射日光の当たる場所・締め切った自動車内・ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因となることがあります。また破損、その他部品の劣化や破損の原因となることがあります。</p>	 禁止	
<p>湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないこと 加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。</p>	 禁止	
<p>風通しの悪い場所に置かないこと 内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。 ・壁に押しつけないでください。 ・押し入れや本箱など風通しの悪い場所に押し込まないでください。 ・テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。 ・じゅうたんやふとんの上に置かないでください。 ・あお向け・横倒し・逆さまにしないでください。</p>	 禁止	
<p>移動させる場合は、電源プラグ・外部との接続線を外すこと 電源プラグを抜かずに運ぶと、電源コードが傷つき火災・感電の原因となることや、接続線などを外さずに運ぶと、本機が転倒し、けがの原因となることがあります。</p>	 指示	
ご使用になるとき		
<p>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かないこと 電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき、火災・感電の原因となります。必ず電源プラグを持って抜いてください。</p>	 引っ張り禁止	
<p>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと 感電の原因となります。</p>	 ぬれ手禁止	
<p>旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜くこと 万一故障したとき、火災の原因となることがあります。</p>	 電源プラグを抜く	
<p>ディスクトレイに、手を入れないこと 指をはさみ、けがの原因となることがあります。 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。</p>	 禁止	
<p>ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないこと ディスクは本機内で高速回転しますので、飛び散ってけがや故障の原因となります。</p>	 禁止	

## はじめに

ご使用になるとき

### 注意

電源を入れる前には音量を最小にすること

電源を入れる前には、接続しているアンプなどの音量を最小にしておいてください。突然大きな音が出て聴覚障害などの原因となることがあります。



指示

リモコンに使用している乾電池は

- ・ 指定以外の乾電池は使用しないこと
- ・ 極性 [(+)と(-)] を間違えて挿入しないこと
- ・ 充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れてたりしないこと
- ・ 乾電池に表示されている【使用推奨期限】を過ぎたり、使い切った乾電池をリモコンに入れたままにしたりしておかないこと
- ・ 種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないこと

これらを守らないと、液もれ・破裂などにより、やけど・けがの原因となることがあります。もし、液が皮膚や衣類についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い医師の治療をうけてください。器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。



禁止

# はじめに

## ◆使用上のお願い

### ◎取り扱いに関すること

#### ■移動させるときは

引っ越しなどで、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。

#### ■殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげたりするなどの原因となります。

長時間で使用になっていると天板や後部が多少熱くなりますが、故障ではありません。

#### ■ふだん使用しないときは

必ず、ディスクを取り出し、電源スイッチを切っておいてください。

#### ■長時間使用しないとき

機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて、使用してください。

### ◎置き場所に関すること

#### ■本機は水平な場所に設置してください。ぐらぐらする机や傾いている所など不安定な場所で使わないでください。ディスクが外れるなどして、故障の原因となります。

#### ■本機をテレビやラジオ、ビデオの近くに置く場合には、本機で再生中、画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような病状が発生した場合はテレビやラジオ、ビデオから離してください。

### ◎お手入れに関すること

キャビネットや操作パネル部分のよごれは柔らかい布で軽く拭き取ってください。

#### ■よごれがひどいときは、布は水でうすめた中性洗剤にひたし、よく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン、シンナーは絶対使用しないでください。変色したり、塗装がはげたりするなどの原因となります。

#### ■化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

### ◎日本国内用です

本機を使用できるのは日本国内のみです。外国では電源電圧が異なりますので使えません。

### ◎結露（露付き）について

結露はディスクや本機を傷めます。よくお読みください。

○“結露”はこんなときおきます。

◇本機を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき

◇暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところで使用したとき

◇夏季に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動して使用したとき

◇湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋で使用したとき

#### ■結露がおきそうなときは、本機をすぐにご使用にならないでください。

結露がおきた状態で本機をお使いになりますと、ディスクや部品を傷めることがあります。ディスクを取り出し、本機の電源プラグをご家庭のコンセントに接続し電源を入れておくと、本機があたたまり、2～3時間で水滴をとります。またコンセントに接続しておくと“結露（露付き）”が生じにくくなります。



## はじめに

### ◆ディスクの取り扱いと用語

#### 再生できるディスク

本機では、下記のディスクを再生することができます。

	マーク (ロゴ)	記録内容	ディスクの大きさ
DVDビデオディスク		映像 (動画) + 音声	12cm
			8cm
音楽用CD		音 声	12cm
			8cm

- DVDビデオフォーマットのDVD-Rディスク
- VRモード/CPRM方式で地デジ放送を録画し、且つファイナライズ処理されたDVD-Rディスク
- ビデオモードでアナログ放送を録画し、且つファイナライズ処理されたDVD-Rディスク
- CD-DAフォーマット (音楽用CD) のCD-Rディスク
- MP3、JPEG形式のファイルが記録されたCD-Rディスク

※上記のディスクであっても、ディスクの相性やデータの作成方法により、再生できない場合もありますのでご了承ください。

※本機はNTSCテレビ方式に適合したプレーヤーです。他のテレビ方式 (PAL、SECAM) 表示のディスクには使用できません。

※DVD±R DLには対応していません。MP3等のデータは、状況により再生できない場合があります。ファイナライズ処理されていないディスクは再生できませんのでご注意ください。

#### ■CPRMについて

CPRMとはContent Protection for Recordable Mediaの略で、コピーを制限する著作権保護技術のことです。

デジタル放送をディスクにダビングし再生するには、CPRM対応のディスクと再生機器が必要になります。

#### ■ファイナライズについて

ファイナライズとは、映像をダビングしたディスクと再生機器の互換性を高めるための処理のことです。

例えば、映像をダビングしたディスクを再生する場合、そのディスクにダビングをした際に使用した機器 (DVDレコーダー等) では再生が可能なのに、同じディスクを他の機器で再生しようとする、ディスクエラーとなる場合があります。これは、ダビングを行った機器ではディスクにデータが記録されている場所が認識できるが、それ以外の機器ではデータの場所が分からないために起こる現象です。このような事態を避け、そのディスクに記録したデータを他の機器でも再生可能なデータ配列にするためにファイナライズという処理が必要になります。

# はじめに

## ◆ディスクの取扱いと用語（つづき）

### ディスクに関する用語について

一般に、DVDビデオディスクは、「タイトル」という大きい区切りと「チャプター」という小さい区切りに分かれています。音楽用CDは、「トラック」で区切られています。

タイトル：DVDビデオディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったものです。

チャプター：タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったものです。

トラック：音楽用CDの内容を曲ごとに区切ったものです。

それぞれのタイトルやチャプター、トラックには順番に番号がふられています。これらの番号を「タイトル番号」「チャプター番号」「トラック番号」といいます。

ディスクによっては、各々の番号が記録されていないものもあります。

### ディスクの取り扱いかた

- 再生面には手を触れないでください。



- ディスクに紙やシールを貼らないでください。



### ディスクの取り扱いかた

- ディスクについた指紋やほこりなどのよごれは、画像の乱れや音質低下の原因となります。柔らかい布で、ディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取り、いつもきれいにしておいてください。

### ディスク保管のしかた

- 直射日光の当たる場所や、湿度の高い場所には保管しないでください。
- 浴室や加湿器のそばなど、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。
- ディスクは必ず専用のケースに入れて保管してください。専用ケースに入れずに重ねたり、立てかけたりすると変形する原因となります。



- よごれがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で軽く拭き取り、乾いた布で仕上げてください。

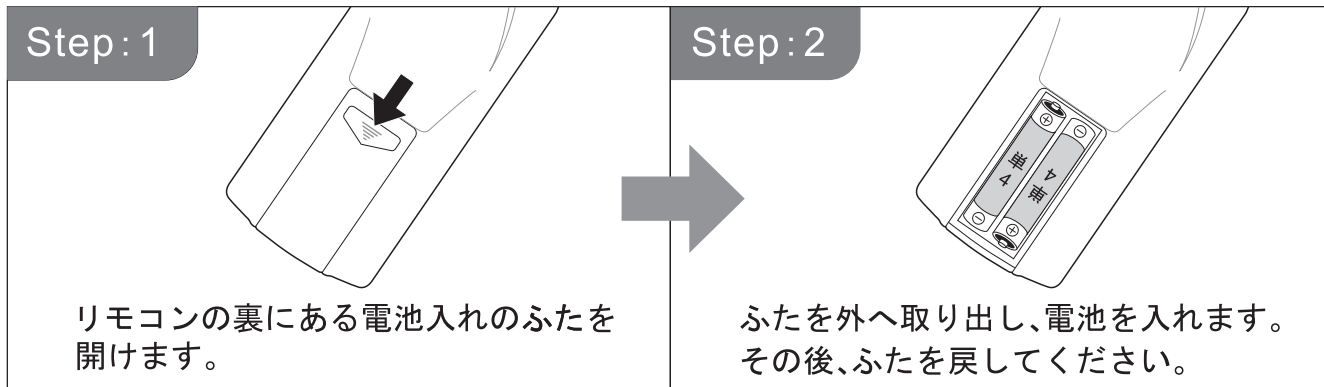
- シンナーやベンジン、アナログ式レコード専用のクリーナー、静電防止剤などは絶対に使用しないでください。ディスクを痛める原因となります。

# ご使用にあたって

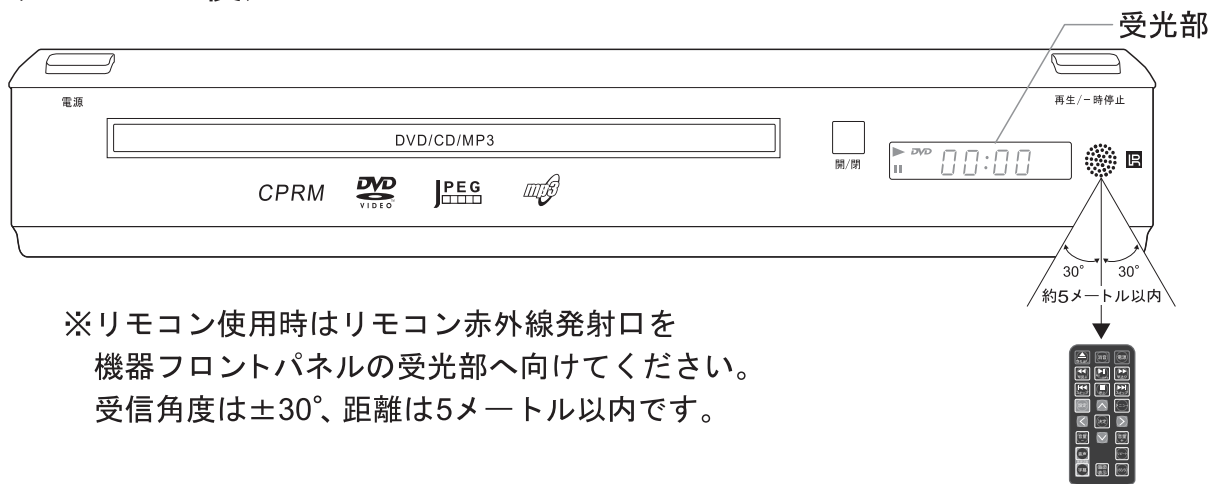
本製品は、映像及び音声動作しない状態で30分ほど経過すると自動的に電源が切れます。

## 1. リモコンの準備と使用

### ●電池の装着方法



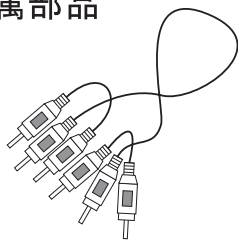
### ●リモコンの使用



### ⚠ 注意事項

- リモコンを落としたり濡らしたりしないでください。
- フロントパネルの赤外線受光部に太陽光や強い光をあてないでください。
- 使用中にリモコンが効かない現象が生じた時は、電池の交換を行ってください。

### 付属部品



AV接続ケーブル



リモコン×1



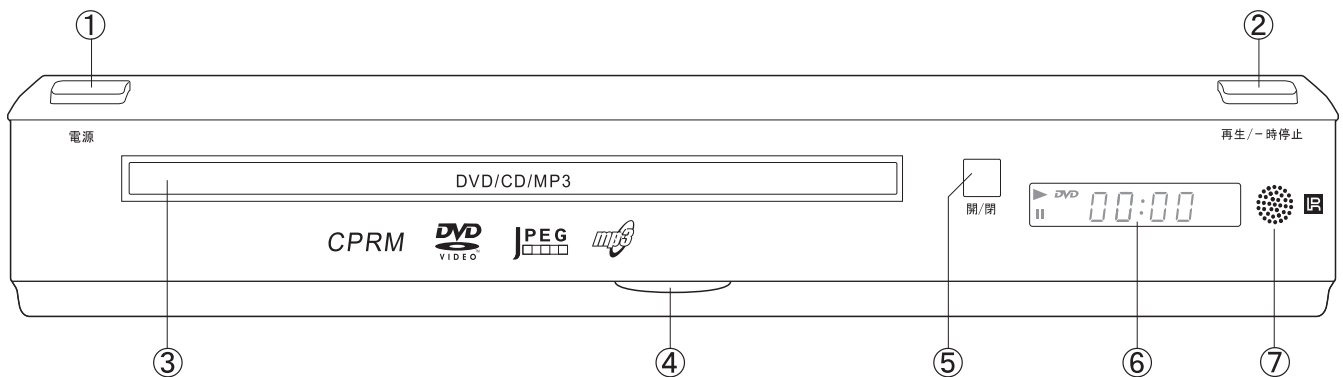
取扱説明書/保証書×1



動作確認用電池×2

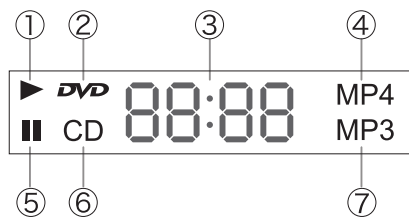
# 操作インターフェイス

## 1. フロントパネル



- ①電源ボタン
- ③ディスクトレイ
- ⑤開/閉ボタン
- ⑦リモコン受光部
- ②再生/一時停止ボタン
- ④電源ランプ
- ⑥ディスプレイ

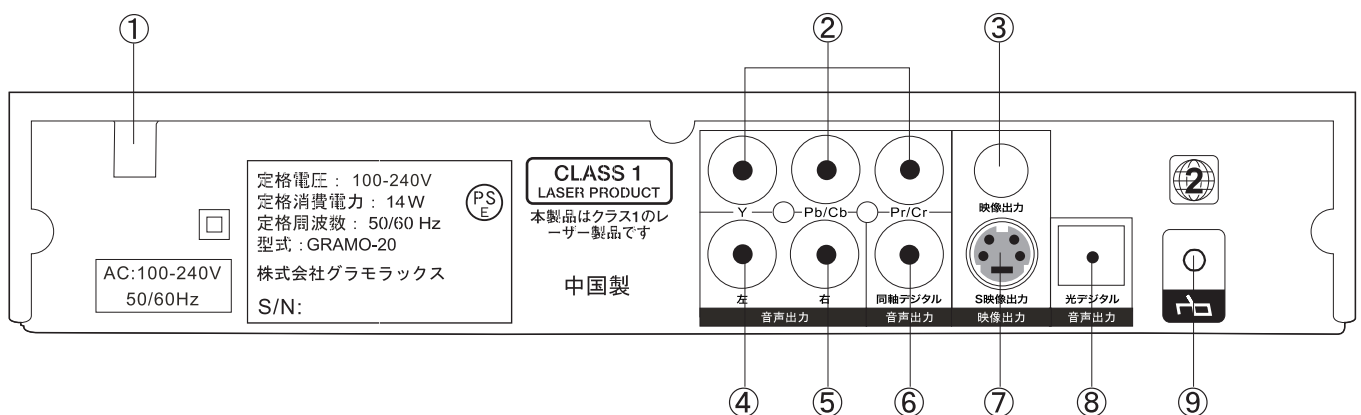
## 2. ディスプレイ表示



- ①ディスクやファイル再生中
- ⑤ディスクやファイル一時停止中
- ②DVD再生時
- ⑥CD再生時
- ③現在の操作状況等
- ⑦MP3ファイル再生時
- ④MP4ファイル再生時

HE:LO [HELLO] 電源オン	0:FF [OFF] 電源オフ	OP:EN [OPEN] ディスクトレイ開	CL:OS [CLOSE] ディスクトレイ閉	NO:DISC [NO DISC] ディスクなし
LO:AD [LOAD] ディスク読込中	12:34 再生時間 表示	ST:OP [STOP] 再生停止中	UN [UN] ファイル非対応(再生不可)	
ti:tl [TITLE] タイトルメニュー表示中	r0:0t [ROOT] ルートメニュー表示中			

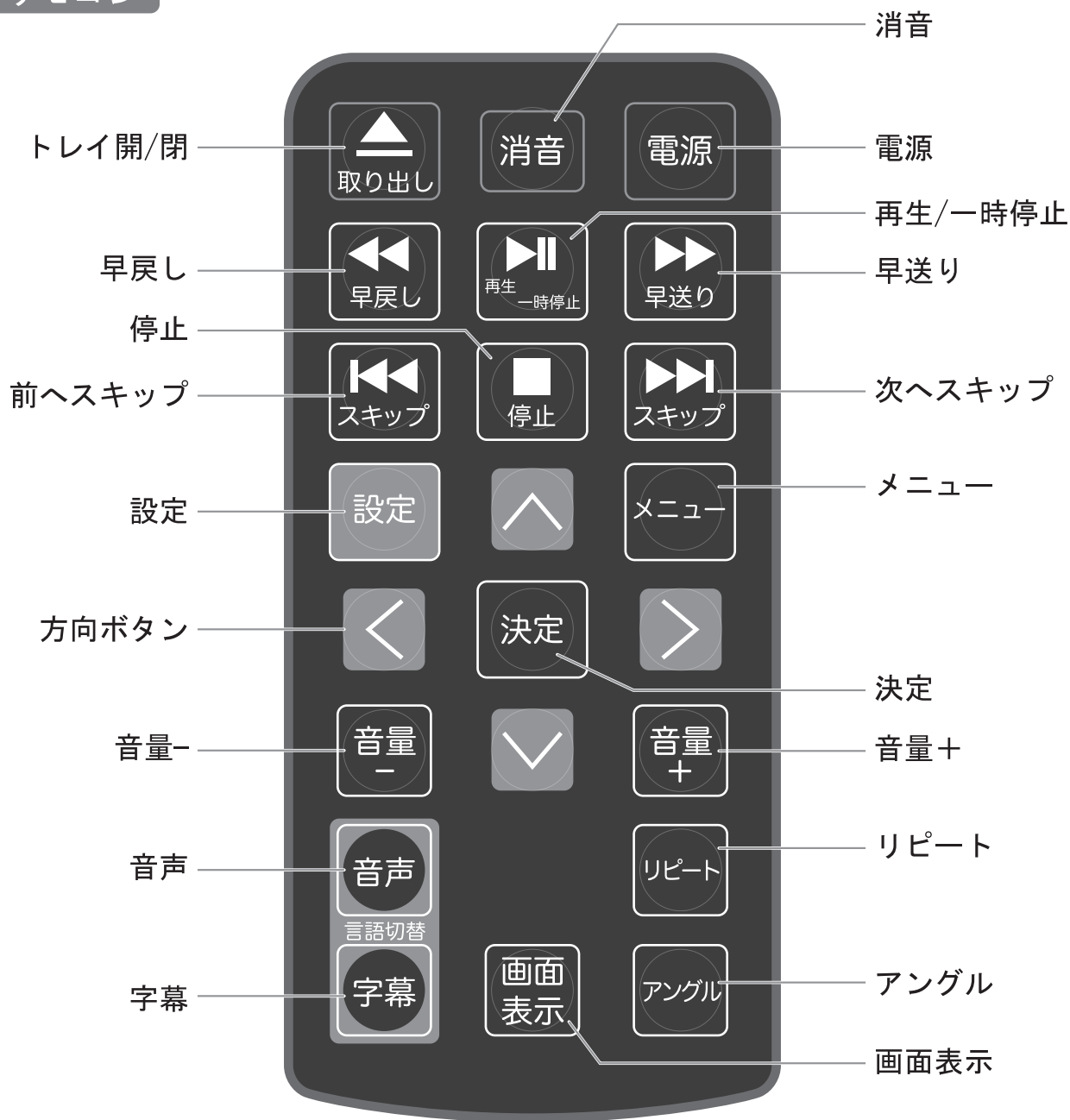
## 3. バックパネル



- ①電源
- ④音声出力L(左)
- ⑦S-端子出力
- ②コンポーネント出力
- ⑤音声出力R(右)
- ⑧光デジタル音声出力
- ③映像出力
- ⑥同軸デジタル音声出力
- ⑨Grounding

# 操作インターフェース

## 4. リモコン



### ⚠ 注意事項

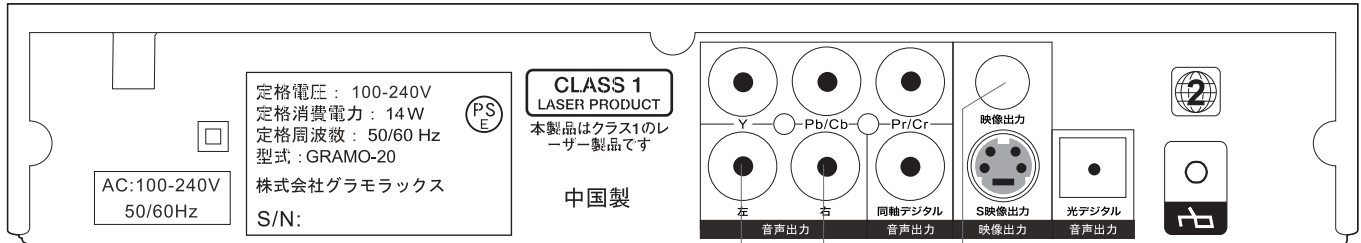
リモコンは指向性赤外線を送出します。操作時には、リモコンを赤外線センサーへ直接向けてください。センサーが覆われていたり、リモコンとセンサー間に障害物があると、センサーはシグナルを受信できません。直射日光や強い人工光（蛍光灯やフラッシュライトなど）がセンサーに当たると、センサーは信号を正しく受信できません。この場合、直接光を避けるため、光の向きを変えるか、装置の位置を移動してください。

# システムの接続



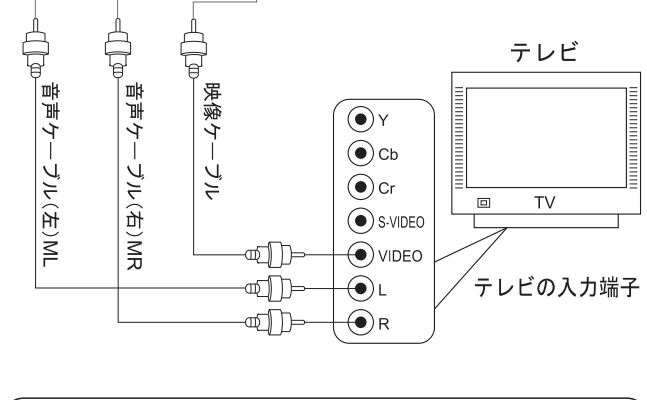
システムの接続が完了する前は、本機または関連機器の電源プラグを差し込まないでください。

## 1. テレビとの接続 (AV入力)



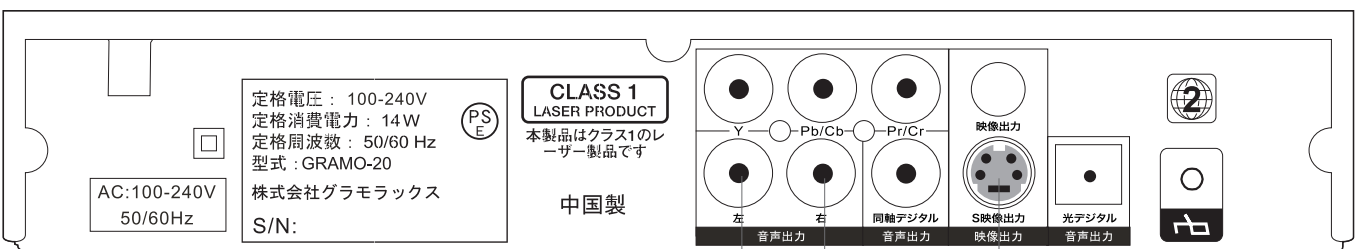
1. 本機の映像出力をテレビの映像入力 (黄色) へ接続します。
2. 本機のML/MR音声出力をテレビの音声入力 (左チャンネル白色/右チャンネル赤色) へ接続します。接続時には、テレビの説明書も参照してください。

※本機の標準パッケージには、1セットのAVケーブルが含まれています。



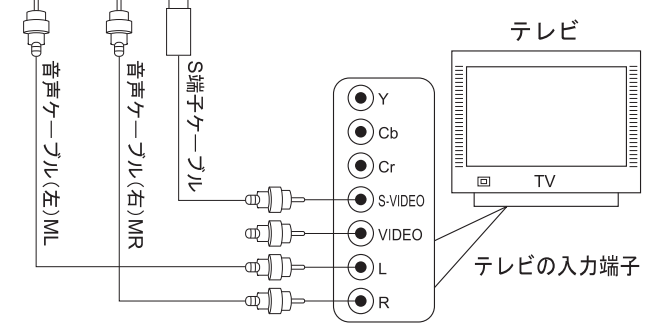
テレビによっては音声入力がひとつしかない場合があります。その場合は左右(白・赤)いずれかのコードを接続すれば音声の再生ができます。

## 2. テレビのS-VIDEO端子への接続



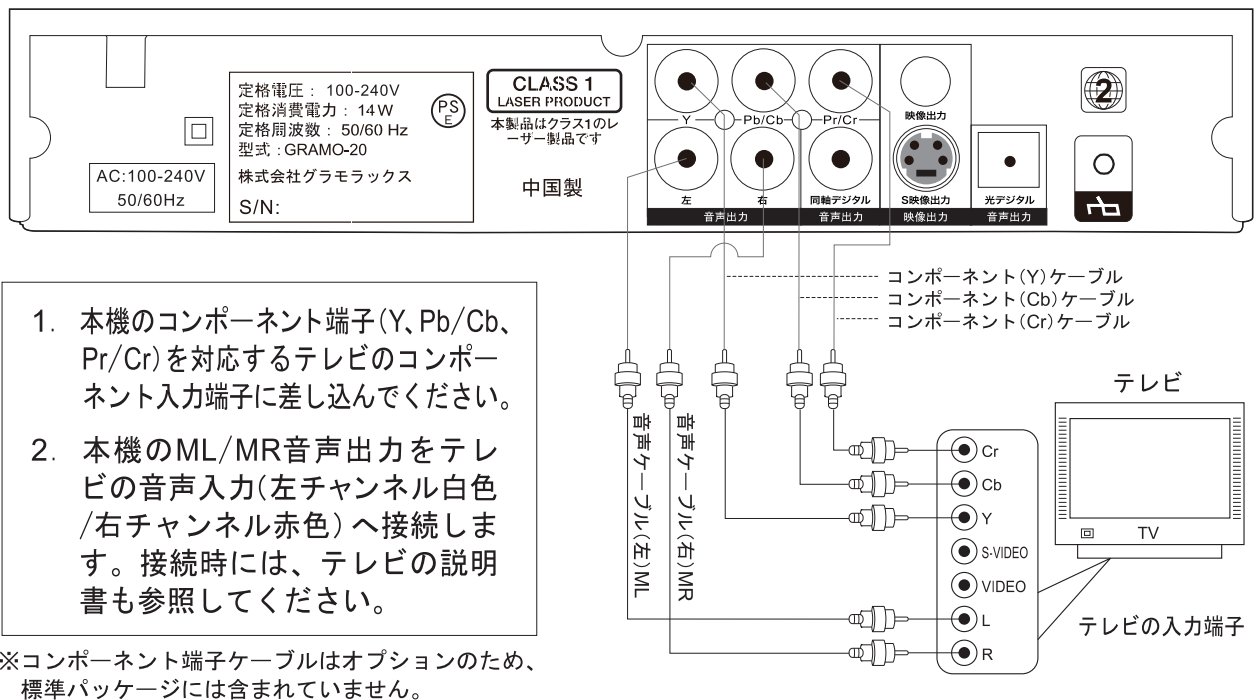
1. テレビのS-VIDEO出力を使用する場合、本機のS-VIDEO出力をテレビのS-VIDEO入力へ接続してください。
2. 本機のML/MR音声出力をテレビの音声入力 (左チャンネル白色/右チャンネル赤色) へ接続します。接続時には、テレビの説明書も参照してください。

※S-VIDEOケーブルはオプションのため、標準パッケージには含まれていません。

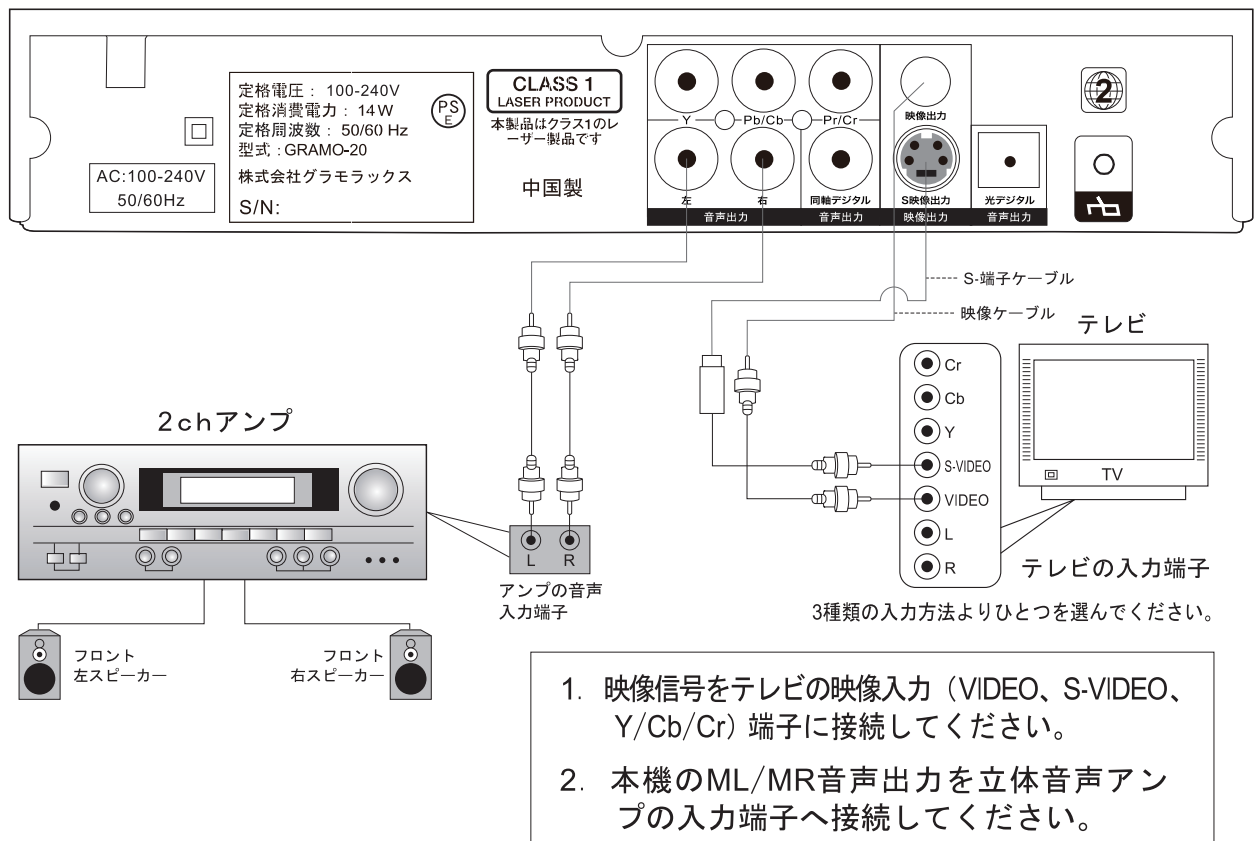


# システムの接続

## 3. コンポーネント（Y、Pb/Cb、Pr/Cr）入力端子付きテレビの接続



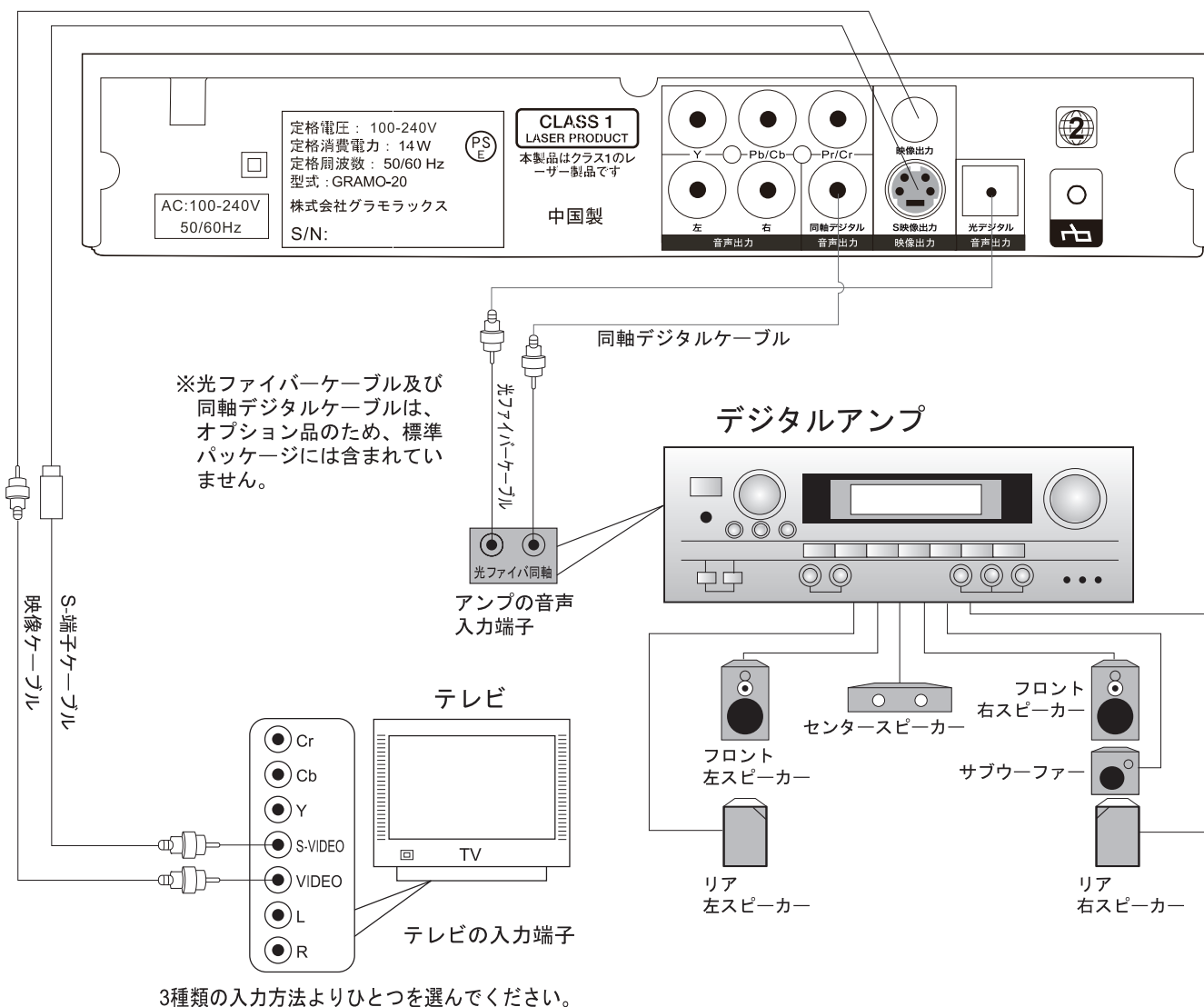
## 4. 2chアンプとの接続



# システムの接続

## 5. デジタルアンプとの接続

1. 映像信号をテレビの映像入力(VIDEO、S-VIDEO、Y/Cb/Cr端子)へ接続して下さい。
2. 本機の光デジタル端子または同軸デジタル端子を専用ケーブルでアンプへ接続して下さい。
3. リモコンの「設定」ボタンを押して、設定メニュー画面に入ってください。
4. リモコンの「◀▶」ボタンにより「一般設定」を選択し、「◀▶」キーを押してデジタル出力を選択します。
5. リモコンの「◀▶」ボタンにより「SPDIF/RAW」または「SPDIF/PCM」の出力方式を選択します。
6. 「決定」キーを押して確認します。





# システムの接続

## 6. プログレッシブテレビとの接続

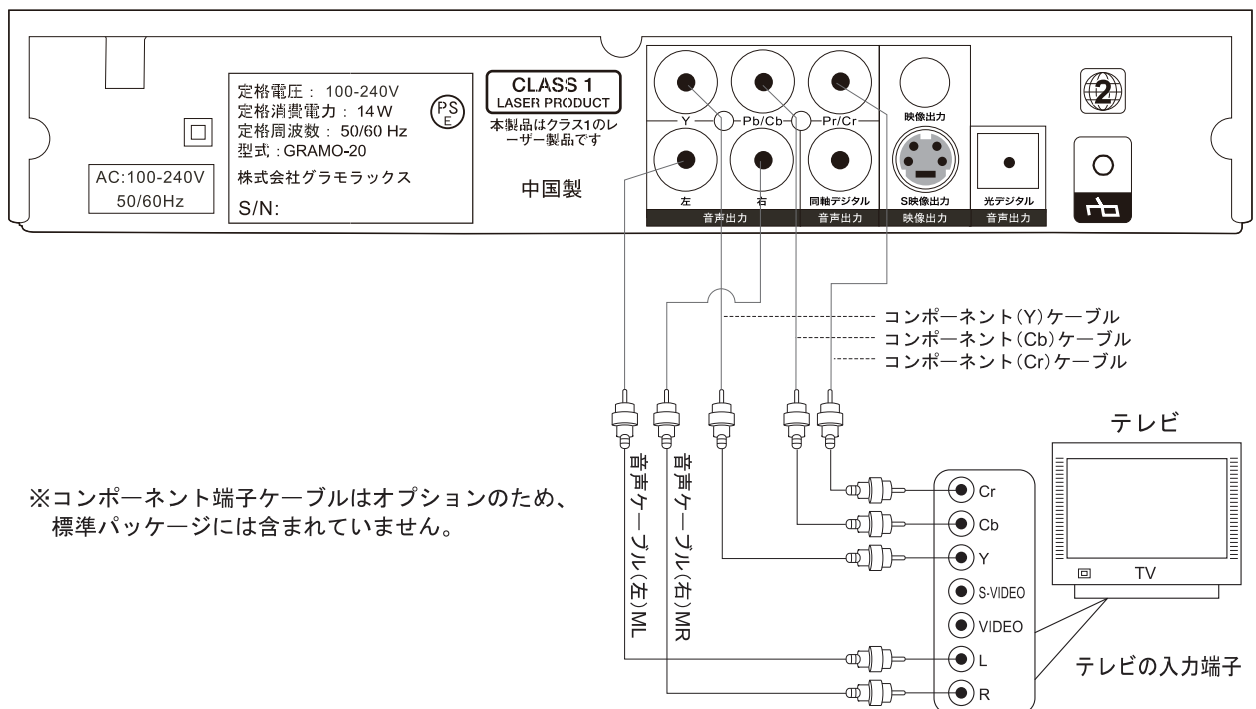
本機の映像設定は工場出荷時はインターレース設定となっています。リモコンの設定ボタンを押して設定画面に入り、プログレッシブに切替えてお楽しみください。

1. 本取扱説明書19ページ「システム設定3.映像出力設定」の項目をご参照ください。
2. 音声出力をテレビのコンポーネント端子と同組の音声入力端子に接続してください。

### ⚠ 注意事項

プログレッシブ再生はコンポーネント端子接続でのみ有効です。  
通常接続でプログレッシブ設定に変更した場合、映像が正しく再生されなくなります。  
設定は電源を切っても維持されます、設定を戻す場合は設定画面で変更してください。

※システム接続前には、本機とその他設備の電源を必ず切断してください。



## システム設定 1.一般設定

システム停止状態で「設定」ボタンを押すと、設定画面が表示されます。設定可能な項目には、一般設定、オーディオ設定、映像出力設定、環境設定があります。「◀▶」方向ボタン及び決定ボタンにより設定を変更する事が出来ます。設定値は即座に反映され、どの状態でも、「設定」ボタンによりメイン画面に戻ります。

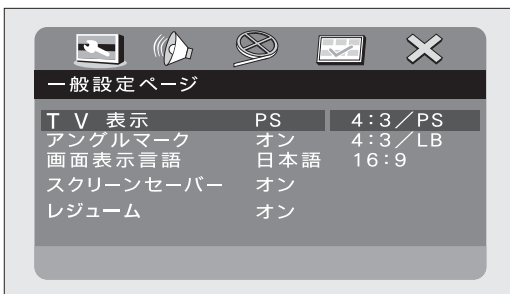
ディスク再生中に「設定」ボタンを押すと、設定画面が表示され設定が変更できます。

### ご注意ください

環境設定に関してはディスクが入った状態では設定できませんので、ディスクを取り出して改めて環境設定を行なってください。

また、ディスクにより設定ができない場合がございます。

## 1 一般設定

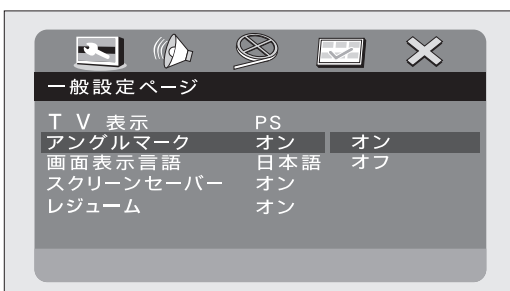


### 1-1 テレビ表示

テレビタイプは、全部で「4:3/PS」、「4:3/LB」、「16:9/ワイド」の3種類があります。

16:9の画面比で作られている映像を視聴する場合、この設定を変えることで、画面に映る映像のサイズを変更することができます。

- ・「4:3/PS」は元の画像の大きさで表示できますが、画面左右部分が切り取られます。
- ・「4:3/LB」は元の画像より小さくなり、画面の上部と下部に黒い部分が表示されます。
- ・「16:9」ワイドテレビに接続する場合に選択します。

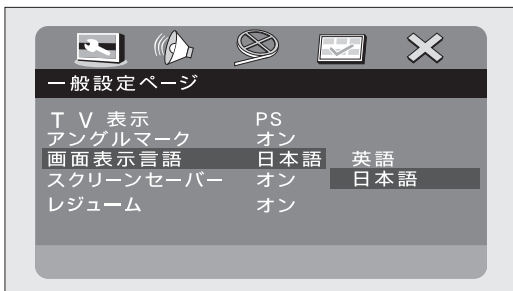


### 1-2 アングルマーク

オンを選択すると、再生開始時に数秒間、画面にアングルマークが表示されます。

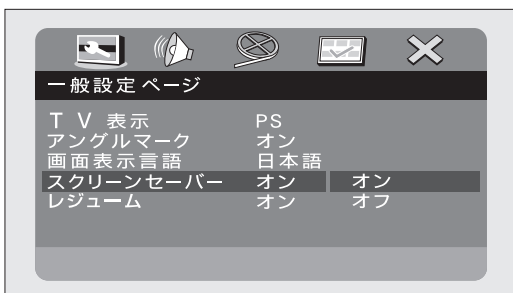
オフを選択するとアングルマークは表示されません。

※アングルのデータが記録されていないディスクでは、オンにしてもマークは表示されません。



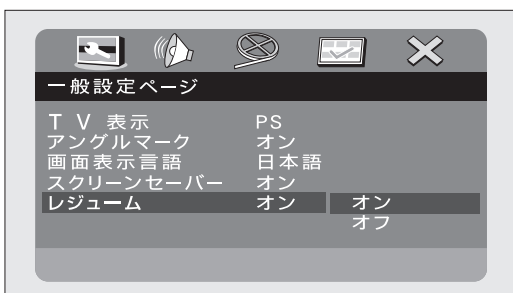
## 1-3 画面表示言語

- ・設定、操作時に使用する言語です。英語、日本語の表示を選択できます。



## 1-4 スクリーンセーバー

- ・スクリーン保護機能のオン・オフが出来ます。オンを選択すると、映像及び音声は動作しない状態で、約5分ほど経過するとスクリーンセーバーが作動します。



## 1-5 レジューム

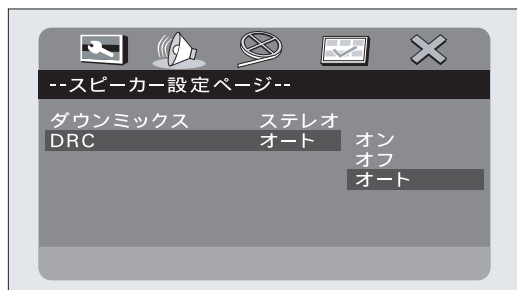
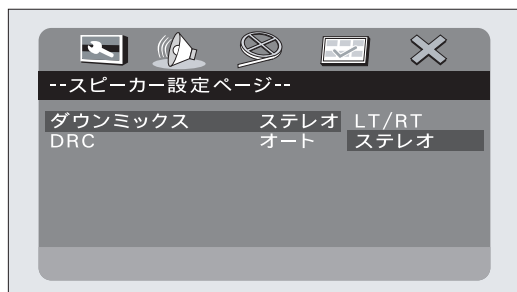
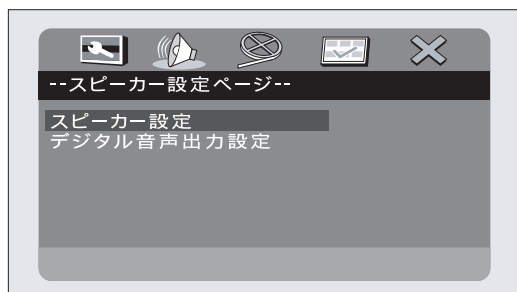
- ・再生を仮停止状態にして電源を切ったとき、次の再生では仮停止(※)した場所から続きを再生します。

※

仮停止：停止ボタンを1回押す。(レジューム可)

完全停止：停止ボタンを2回押す。(レジューム不可)

## 2 スピーカー設定



### 2-1 ダウンミックス

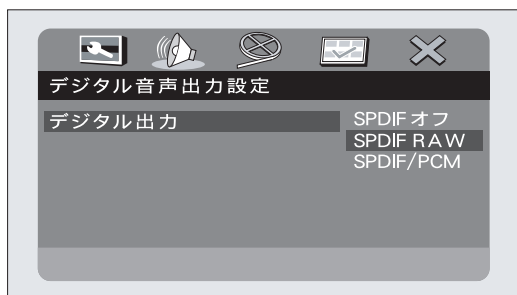
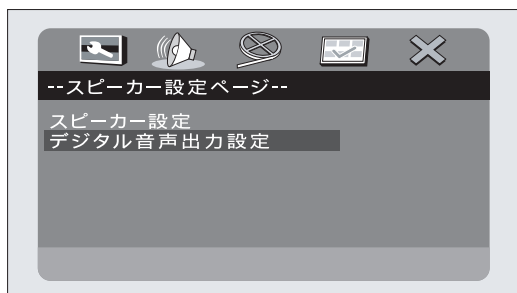
スピーカー設定ページから〔スピーカー設定〕→〔ダウンミックス〕を選択してください。

- ・ LT/RT : 選択するとディスク上のオリジナル音声はDolby Pro Logic形式で収録されている場合、劇場のような音響効果が得られます。
- ・ ステレオ : 5.1chサラウンド再生時に選択します。2種類のチャンネル信号が左右のサラウンドトラックから出力されます。2chサラウンド再生時にはステレオ信号が出力されます。

### 2-2 DRC (ダイナミックレンジコントロール)

スピーカー設定ページから〔スピーカー設定〕→〔DRC〕を選択してください。

- ・ オンを選択すると、大きな音と小さな音の幅を圧縮します。大きな音は小さくなり、小さな音は大きくなります。
- ・ オートを選択すると、DRCは自動的に調整されます。



## 2-3 デジタル音声出力設定

スピーカー設定ページから〔デジタル音声出力設定〕  
→〔デジタル出力〕を選択してください。

デジタル出力で再生する場合、デジタルアンプ等  
対応する機器が必要となります。

本機器と対応機器を光ケーブルで接続する際に選  
択してください。

- ・ SPDIF オフ : デジタル出力をオフにします。
- ・ SPDIF/RAW : ドルビーデジタル等を5.1ch再生  
する場合に選択してください。
- ・ SPDIF/PCM : ドルビーデジタル等を2ch(ステレ  
オ)再生する場合に選択してくだ  
さい。

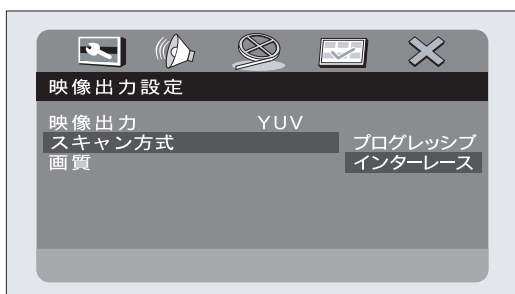
## 3 映像出力設定



### 3-1 映像出力

- ・ 映像出力端子の設定を行ないます。  
通常使用の場合はS-VIDEOにて使用します。  
コンポーネント端子で接続する場合YUVを選択  
します。

※S-VIDEO接続をしている場合、YUVに変更する  
と、映像が出なくなります。



## 3-2 映像出力つづき

前項映像出力設定において、YUVを選択すると、コンポーネント端子から映像信号が出力されるようになります。スキャンでは2種類の再生方式を選択できます。

- ・ プログレッシブ：プログレッシブ再生を行う場合に選択してください。
- ・ インターレース：通常の再生方式です。

※プログレッシブを選択する場合は、プログレッシブ再生が可能なテレビかどうかご確認のうえ、選択してください。再生可能なテレビでないと正常な再生はできません。

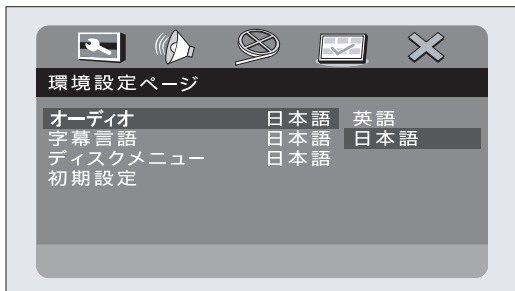


## 3-3 画質設定

〔画質〕を選択すると画面のシャープネス、明るさ、コントラストを調整することができます。

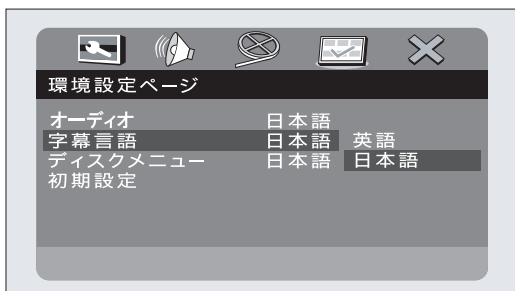


## 4 環境設定



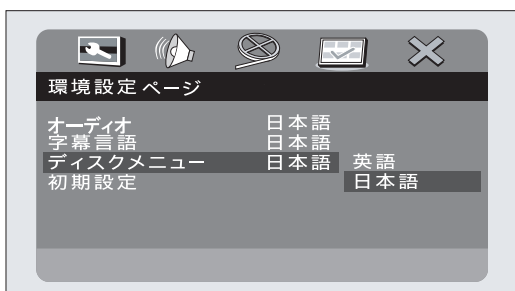
### 4-1 音声言語

- ・ディスクが選択したメニュー言語に対応している場合、設定した言語で表示されます。  
ディスクを再生中に、リモコンの音声切換ボタンを押すことによっても、音声言語を切り替えることができます。



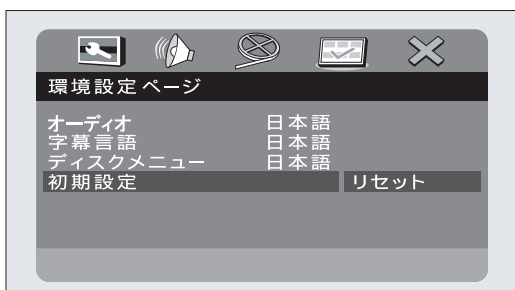
### 4-2 字幕言語

- ・ディスクが選択した字幕に対応している場合、設定した字幕が表示されます。  
ディスクを再生中に、リモコンの字幕ボタンを押すことによっても、字幕を切り替えることができます。



### 4-3 ディスクメニュー

- ・ディスクが選択したメニュー言語に対応している場合、設定した言語で表示されます。



### 4-4 初期設定

- ・工場出荷時の設定に戻します。

## 基本操作

---

# 基本操作

### 1. 電源を入れる



- ・DVDプレイヤーまたはリモコンの電源ボタンを押すと、テレビ画面に「読込中」と表示されます。



- ・DVDプレイヤーにディスクが挿入されていない場合、以下のように表示されます。

### 2. ディスクの挿入



- ・DVDプレイヤーまたはリモコンのトレイ開/閉ボタン (▲) を押すと、テレビ画面に「トレイ開」と表示されトレイが開きます。



- ・DVDプレイヤーにディスクを挿入し、DVDプレイヤーまたはリモコンのトレイ開/閉ボタン (▲) を押すと、テレビ画面に「トレイ閉」と表示されトレイが閉まります。ディスクの再生が自動的に開始されます。



## 基本操作

---

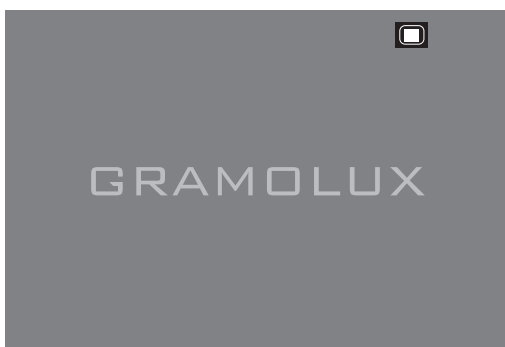
### 3. ディスクの再生



- ・再生：リモコンまたは本体の再生/一時停止ボタンを押すと再生が開始されます。



- ・仮停止：再生中にリモコンの停止ボタン、もしくは本体の再生/一時停止ボタンを3秒以上長押しすると再生を仮停止します。この状態で再び再生をすると、停止した場面から再生が可能です。



- ・停止：仮停止状態でリモコンの停止ボタンもしくは本体の停止/一時停止ボタンを3秒以上長押しすると再生を完全に停止します。

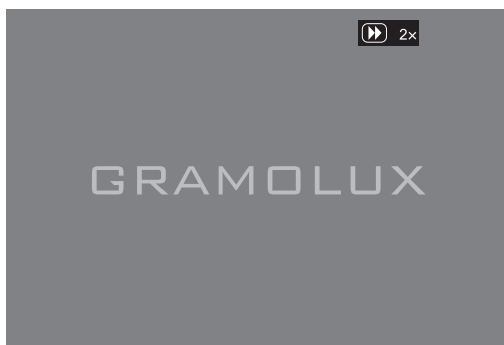


- ・一時停止：再生中にリモコンまたは本体の再生/一時停止ボタンを押すと再生を一時停止します。一時停止を解除するには再生/一時停止ボタンを押してください。

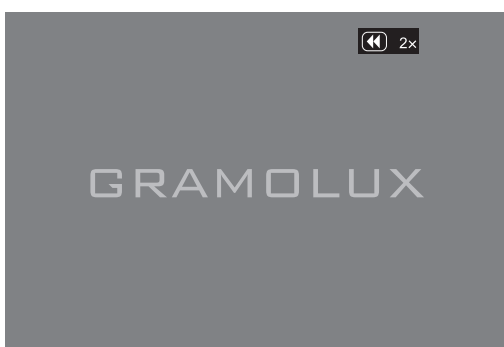
## 基本操作

---

### 3. ディスクの再生



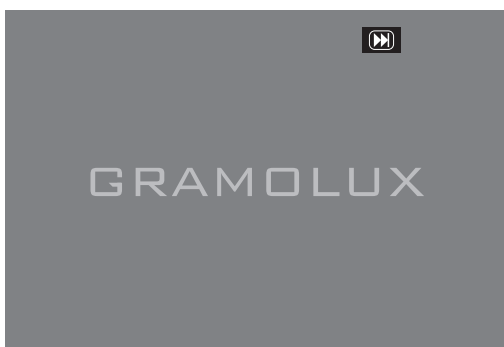
- ・ 早送り：再生中にリモコンの早送りボタンを押すと2×→4×→8×→16×→32×の早送り再生と通常の再生が循環して切り替わります。



- ・ 早戻し：再生中にリモコンの早戻しボタンを押すと2×→4×→8×→16×→32×の早戻し再生と通常の再生が循環して切り替わります。

※DVDディスクの早送り早戻し中は音声が出ません。  
※音楽CDは早送り、早戻し中は音声が出ません。

### 4. トラックの頭出し



- ・ 次へスキップ：DVDディスクを再生中にリモコンで次へスキップボタンを押すと次のチャプターまたはタイトルを再生します。CDを再生中にリモコンで次へスキップボタンを押すと、次の曲を再生します。



- ・ 前へスキップ：DVDディスクを再生中にリモコンで前へスキップボタンを押すと前のチャプターまたはタイトルを再生します。CDを再生中にリモコンで前へスキップボタンを押すと、前の曲を再生します。

## 基本操作

---

### 5. リピート

- ・リモコンでリピートボタンを押すとタイトル、チャプター曲目、またはディスクの内容全てをリピート再生することができます。

#### DVD再生の場合

チャプターリピート→タイトルリピート→オールリピート→オフと循環して切替ります。

#### CD再生の場合

1曲リピート→オールリピート→オフと循環して切替ります。

### 6. その他リモコンの使用方法

- ・音声切替：DVDの再生中にリモコンで音声切替ボタンを押すと、収録されている言語を切り換えることができます。
- ・字幕切替：DVDの再生中にリモコンで字幕切替ボタンを押すと、収録されている字幕の表示を切り換えることができます。
- ・アングル：DVDによっては同時に異なる角度で場面を収録したものがあり、リモコンのアングルボタンを押すことで、異なる角度から同じ場面を見ることができます。
- ・音量：リモコンの音量＋ボタンを押すことで音量を調節できます。
- ・画面表示：画面表示ボタンを押すと、再生中のディスクの情報を表示できます。

## トラブルシューティング

故障かな？と思ったらもう一度確認しましょう。

故障状況	原因および解決方法
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"><li>●電源プラグが正しく電源コンセントに差し込まれているか確認してください。</li><li>●電源がオンになっているか確認してください。</li></ul>
ディスク読み取りができない	<ul style="list-style-type: none"><li>●ディスクが入っているか確認してください。</li><li>●ディスクが反対に入っていないか確認してください。</li><li>●ディスクと機器の地域コードが違っていませんか？</li><li>●ディスクのフォーマットが違っていませんか？</li><li>●該当ディスクが損傷または汚れている可能性があるため、ディスクを換えるか、またはディスクをクリーニングしてください。</li></ul>
画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"><li>●テレビの電源がオンになっているか、テレビの入力切替が適正であることを確認してください。</li><li>●システムの接続状態を確認してください。</li><li>●接続ケーブルがきちんと繋がっているか確認してください。</li><li>●ディスクをクリーニングして表示できるか確認してください。</li><li>●機器の画像出力の設定が合っているか確認してください。</li></ul>
画像がぼやける/歪む	<ul style="list-style-type: none"><li>●ディスクが損傷しているか汚れている可能性があるため、ディスククリーニング又は、違うディスクに交換してください。</li><li>●DVDプレーヤーをテレビと直結にし、その他機器を介して接続しないで確認してください。</li></ul>
画像がフルスクリーンにならない	<ul style="list-style-type: none"><li>●TVシステムの設定をやり直してください。</li></ul>
ディスク損傷マークが表示される	<ul style="list-style-type: none"><li>●該当ディスクが損傷または汚れている可能性があるため、ディスクを換えるか、またはディスクをクリーニングしてください。</li></ul>

## トラブルシューティング

故障状況	原因および解決方法
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"><li>●テレビとスピーカーの電源がオンになっているか、または正しく設定されているか確認してください。</li><li>●テレビスピーカーが本機の音声を選択しているか確認してください。</li><li>●ディスクの音声選択があっているか確認してください。</li><li>●以下の状態では音は出力されません。 一時停止、ステップ、早送り、巻き戻しなど。</li></ul>
サラウンドから音が出ない	<ul style="list-style-type: none"><li>●デジタル出力またはスピーカーの設定が正しいか確認してください。</li><li>●アンプの電源またはスピーカーがオンになっているか確認してください。</li></ul>
MP3ディスクの音が出ない、または雑音がある	<ul style="list-style-type: none"><li>●システム接続が正しいか確認してください。</li><li>●MP3ディスクがその他フォーマットのファイルを含んでいませんか？</li><li>●MP3ディスクにキズがついていませんか？</li></ul>
リモコンが効かない	<ul style="list-style-type: none"><li>●リモコンと機器間に障害物がありませんか？</li><li>●リモコンがリモコン受光部に向いていますか？</li><li>●リモコンの電池が正しく装着されているか確認してください。</li><li>●リモコンの電池残量があるかどうか確認してください。</li></ul>
電源が切れる	<ul style="list-style-type: none"><li>●本機はオートパワーオフ機能を採用しております。映像及び音声動作しない状態で30分ほどたつと自動的に電源がオフになります。一時停止で30分ほどたった場合もオフになります。</li></ul>

## 仕様

信号方式	日米標準NTSCカラーテレビジョン方式	
音声信号対雑音比 (S/N比)	90dB以上	
ダイナミックレンジ	90dB以上	
ビデオ信号対雑音比 (S/N比)	56dB以上	
電源	AC100V～240V 50/60Hz	
消費電力	14W	
外形寸法	幅225mm×高さ46mm×奥行232mm(突起部含まず)	
重量	約1.0kg	
使用条件	温度:5°C～35°C、動作姿勢:水平	
端子部	映像出力	1.0V(p-p)、75Ω
	Sビデオ出力	Y:1.0V(p-p)、75Ω/C:0.3V(p-p)、75Ω
	コンポーネント映像出力	Y:0.7V(p-p)、Pb/Cb:0.7V(p-p)、Pr/Cr:0.7V(p-p)
	音声出力	2.0V± $\frac{0.2V}{1.0V}$
	デジタル音声出力	光出力
付属品	映像・音声接続コード…………… 1本 ワイヤレスリモコン…………… 1個 動作確認用電池…………… 2個 取扱説明書(本書)…………… 1冊	

※設計および仕様は通知なしに、変更および更新することがあるので、ご注意ください。